

# 農業委員会だより

■ 発行人 飯山市農業委員会 松永晋一  
 ■ 編集 飯山市農業委員会 情報委員会

## 新農業委員を

紹介します。

順序は右上から議席番号順です。

(敬称略)



石澤 與一郎 (秋津・上組) 情報委員  
 小野沢 純夫 (木島・下木島) 情報委員  
 松本 淳一 (飯山・上町) 選任・情報委員

沼田 浩子 (常盤・小泉) 農政対策委員  
 荻原 育夫 (外様・中曽根) 選任・農業振興委員  
 酒井 智恵子 (太田・小境) 情報委員  
 小林 喜美治 (秋津・北畑) 選任・農政対策委員

大口 今朝志 (太田・北条) 農業振興委員  
 小林 喜代春 (瑞穂・戸那子) 農政対策副委員長  
 増山 正一 (瑞穂・柏尾) 情報副委員長  
 小嶋 秀典 (柳原・笹川) 農業振興副委員長

服部 彰夫 (外様・尾崎) 情報委員  
 渡邊 敬一 (岡山・桑名川) 情報委員長  
 渡邊 照一郎 (岡山・温井) 選任・農政対策委員  
 佐藤 弘子 (常盤・小沼) 農業振興委員

丸山 和義 (常盤・戸隠) 農政対策委員長  
 松永 晋一 (秋津・中山根) 選任・会長・農政対策委員  
 月岡 信一 (飯山・上倉) 会長職務代理・農業振興委員  
 今井 寛 (木島・野坂田) 農業振興委員長

## 農業委員改選による新役員が決定しました

委員の任期は本年8月1日から平成30年7月31日までの3年間で、新農業委員による最初の農業委員会が8月3日に開かれました。

学識経験者から選ばれる選任の5名が市長より委嘱され、飯山市農業委員選挙で当選した14名と併せて19名の農業委員により、組織体制等が

決定しました。新役員は次のとおりです。

会長に松永晋一さん(秋津)、会長職務代理に月岡信一さん(飯山)、農業振興委員長に今井寛さん(木島)、農政対策委員長に丸山和義さん(常盤)、情報委員長に渡邊敬一さん(岡山)がそれぞれ就任しました。

## 就任あいさつ

農業委員長 松永 晋一

この度の農業委員の改選によりまして、農業委員会会長に再び選任されました。浅学菲才でその器ではありませんが、精一杯職務を全うしたいと思っております。農業委員会は、地域の農業・農村発展のため、「優良農地の確保と有効利用」「担い手の確保と育成」など農地制度の適正執行と農業振興に向けた政策の推進を担っています。

8月28日農業委員会法の改正案が参議院で可決成立し、平成28年4月1日より施行されますが、飯山市農業委員会の業務は3年後の任期末までは原則として現行法の元

での業務を行うこととなります。国は成長戦略を実行するため規制改革に関する第3次答申を踏まえ「日本再興戦略」推進に当たり阻害要因を除去するため「健康・医療」「雇用」「農業」「投資促進等」および「地域活性化」を改革の重点分野としました。農業分野では競争力・魅力ある農業を創り農業の成長産業化を実現するため農地の集積・集約化を推進するとともに、地域の単位農協が主役となつて創位工夫を発揮できるような農地中間管理機構の機能強化②農地情報公開システムの機能向上③農協改革の確実

## 農地パトロール(農地利用状況調査)を実施しています

農地の利用状況を把握することにより、農地の確保と遊休農地化の防止を目的として、全国一斉に行われるもので、飯山市農業委員会では10月末まで行います。

な実施に重点的取り組むとしています。しかし、これらの政策は現場を知らない官僚や財界、市場原理主義の学者が深く関わっており、今まで培ってきた家族農業や農村地域を破壊する政策ではと強く危惧しています。また、TPP交渉では大幅な譲歩による決着が報道されていますが、当地の米・養豚に大きな影響を及ぼします。農業情勢は厳しさを増すばかりですが、農業者を代表する公的機関として、皆さまのご意見を十分お聞きし活力ある地域農業を目指してまいりますので、ご指導、ご協力をお願い申し上げます。のあいさついたします。

## 北信五市農業委員研修会が開かれました



去る8月27日に北信五市農業委員研修会が長野市のホテル国際21で開催されました。

その研修会において、当飯山市の丸山農政対策委員長が常盤ごぼうの普及に係る取り組みについてと題して事例発表しました。

常盤ごぼうの歴史は古く江戸時代(天保年間)に始まったと言われ、最盛期には783トもの生産量がありましたが、現在は7ト余りとなつている現状から25年度に同土2名とT・Oごぼう部会を設立し作業能率の向上を図るため、掘り取り機械の導入や収穫したごぼうの一部について加工用として使用し、き

んびらはもちろんチップ状にスライスしカリカリのスナックにしたり、粉末にしてごぼう茶としても販売するなど生産から加工品の開発まで幅広い活動を行っています。参加者からは、たいへん感銘したという意見が出されるなど、長野県の伝統野菜である常盤ごぼうの生産拡大による耕作放棄地解消などに向けてますますの活躍が期待されます。

情報委員長 渡邊敬一

## あしあと 7・8月の活動記録

- 7月2日 長野県女性農業委員の会総会(岡谷市)
- 8日 農業委員会役員会
- 29日 農業委員会総会
- 8月3日 農業委員会初総会
- 10日 農業委員会役員会
- 26日 北信州農村女性のつどい(飯山市公民館)
- 27日 農業委員会総会・北信五市農業委員研修会(長野市)